

議会だより

令和7年

第81号

7月11日発行



青い水平線へ
届ける光

Contents

- 定例会で決まったこと ②～③
- 一般質問 町政を問う ④～⑫
- 議会の傍聴に来ませんか? ⑬
- 常任委員会の審査報告 ⑭～⑮
- 議会のうごき ⑯

6月の一般質問は…

- ・フェリー運賃70歳以上無料化を (池田 安彦)
- ・町内の公共交通対策を (小田 勝志)
- ・遠距離学生の乗合バス利用を (古田 一博)
- ・地方創生第2世代交付金の活用は (上平 重)
- ・病児保育施設の開設を (浦 弘成)
- ・義務教育学校の考えは (上筋 睦雄)
- ・防災無線受信困難地域の解消は (楠元 康博)
- ・化石パーク体験場の整備 (中浦 雅彦)

総合運動公園整備など計8億5千万円追加

令和7年第2回長島町議会定例会が、6月9日から19日まで14日間の日程で開かれた。

令和6年度一般会計補正予算(第12号)は、各事業の実績などによる補正で1億5124万8千円を減額し、総額136億2714万8千円となった専決処分を承認した。

令和7年度一般会計補正予算(第2号)は、総合運動公園整備事業や獅子島アイランドセンターなど8億5470万4千円を追加し、120億9089万3千円となったほか、国民健康保険と国民健康保健診療施設の2特別会計に係る補正予算を審議した。(審議の詳細は14〜15ページ)

このほか繰越計算書の報告や工事請負契約など議案9件を審議した結果、原案のとおり可決した。

最終日の19日には、追加議案が提出され、法改正により選挙

執行に係る報酬額を改める条例案を可決。

また、6月30日に辞職した田淵省二前教育長の後任として、本町鷹巣出身の大野憲久氏(65)が選任され、同意した。

定例会で決まったこと

令和6年度補正予算に係る専決処分を承認

実績等に伴う令和6年度に係る補正予算(一般会計および8特別会計)の専決処分を承認した。

法改正に伴い、町税条例と国保条例を改正

地方税法等の一部を改正する法律が令和7年3月31日に公布、4月1日から施行されることとなったことから、町税条例と国保条例を専決処分で改正した。

町民税の控除拡大による負担軽減のほか、軽自動車税の新区分追加や国保税の賦課限度額見直しが行われた。

28の事業繰越を報告

水産業競争力強化緊急施設整備事業や町道整備など令和6年度一般会計における28の事業(12億6415万7千円)のほか、2公営企業会計(水道事業、簡易水道事業)における4事業(合計1億4318万円)を令和7年度に繰り越した。

総合運動公園スタンド工事請負契約を変更

令和6年9月に契約した総合運動公園スタンド棟新築工事請負契約で、防災安全上必要な非常用放送設備、照明設備、火災報知設備、発電設備などを追加するなど工種内容に変更が生じたことから工事請負変更契約を締結。
2302万円を増額し、総額4億8172万円となった。

CT装置購入売買契約締結

老朽化に伴い、鷹巣診療所に導入するCT装置購入のための売買契約を締結。契約額3870万9千円で、(株)さくら医療機器と契約締結。

水槽付消防ポンプ車購入売買契約を締結

長島分遣所の消防ポンプ車更新のため、水槽付消防ポンプ車購入の売買契約を締結。
契約額7535万円で、納期は令和8年3月27日まで。(株)熊谷消防設備と契約締結。



整備予定の水槽付消防ポンプ車と同じ型式の車両

新教育長は大野氏

6月30日に辞職した田淵省二前教育長の後任として、本町鷹巣出身の大野憲久氏(65)が選任され、同意した。任期は令和7年7月1日から令和9年7月5日まで。

乗合バス・スクールバス 購入売買契約の締結

現在、乗合バス事業で町内西回りを巡回するマイクロバスを更新するため、2112万円ですぐ自動車九州(株)川内支店と契約締結。納期は令和8年3月31日まで。旧本浦小学校区の小中学生通学用のスクールバスを更新するため、866万2192円で、三菱ふそうトラック・バス(株)九州ふそう川内支店と契約を締結。納期は令和8年3月31日まで。



新しく整備される乗合バスのイメージ

リース契約の一部解約

戸籍システムを国の標準化システムへ移行することから、不要となった機器のリース契約を一部解約し、賠償金の額を定めた。契約先のNECキャピタルソリューション(株)九州支店へ契約条項に基づき、残月数17か月分の506万9千円を支払うこととなった。なお、経費は国の補助対象である。

法改正により、選挙報酬を改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が令和7年6月4日公布、施行されることとなったことに伴い、長島町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正した。

最近の物価変動などを考慮し、選挙長や投票管理者などの報酬額が引き上げられた。

消防組合議会議員の選出

阿久根地区消防組合議会議員の町口孝治氏(小浜)が令和7年3月31日付で町消防団長を退団したこと、門元則文氏(蔵之元)を新議員として選出した。

令和7年度補正予算の主な事業費(単位:千円)

○一般会計(第2号)

巡回バス運行計画策定業務委託料	5,500
巡回バス運行委託料(実証運行)	1,815
獅子島アイランドセンタートイレバリアフリー化事業	14,320
御所ノ浦高齢者コミュニティセンター改修事業	12,549
獅子島産業活性化事業(海上輸送費支援)補助金	3,818
戸籍・戸籍附票システム改修業務委託料	15,444
生活保護システム改修業務委託料	1,628
林道獅子島中央線・立石線整備事業費	18,406
東町漁協養殖係留施設整備補助金	40,034

生け簀の大型化や足し網の施設整備補助金	21,301
せたがやふるさと区民まつりPR活動委託料	2,000
クジラモニュメント設置事業費	3,000
癒し空間観光地整備事業費	40,000
ワイヤーメッシュ柵整備補助金	4,895
県営事業負担金(県道平尾川床線)	8,500
県営事業負担金(指江港・宮之浦港)	18,880
総合運動公園整備事業(ナイター照明工事・全天候舗装)	477,000

○国民健康保険特別会計(第1号)

標準化に伴う国保資格確認書作成経費	532
-------------------	-----

○国民健康保険診療施設特別会計(第1号)

会計年度任用職員人件費	△224
-------------	------

一般質問

町政を問う

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和7年第2回定例会（6月）では次の8人の議員が質問した。

いけだ やすひこ
1 池田 安彦（5ページ）

- ・水産業振興について
- ・獅子島地区住民割引旅客運賃補助について

おだ かつし
2 小田 勝志（6ページ）

- ・町内の交通対策について
- ・地方創生について

ふるた かずひろ
3 古田 一博（7ページ）

- ・遠距離学生のバス利用について
- ・小中学校の危険箇所対策を早急に

かみひら おもし
4 上平 重（8ページ）

- ・地方創生2.0事業について
- ・新総合運動公園将来ビジョンについて



一般質問の内容を視聴できます。
詳しく知りたい方は、議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ってください。

うら ひろなり
5 浦 弘成（9ページ）

- ・固定資産税の評価額見直し
- ・行政課題の人員配置
- ・多目的広場造成工事

かみすじ むつお
6 上筋 睦雄（10ページ）

- ・町立学校再編の目指す将来像
- ・役職定年の課題
- ・サンセットの丘宿泊施設の建設計画

くすもと やすひろ
7 楠元 康博（11ページ）

- ・中学校の統合再編について
- ・防災無線について
- ・389号線の汐見交差点の信号機

なかうら まさひこ
8 中浦 雅彦（12ページ）

- ・獅子島の化石を生かした活性化策
- ・恵比寿市の今後について

いけだ やすひ

池田 安彦 議員



動画は
← コチラ

天長フェリー、獅子島汽船の70歳以上運賃無料化はできないか

答 調査、研究が必要である

養殖係留施設整備事業を問う

池田 現在幣串地先、片側地先の沖に既存の施設があるが、施設の老朽化と海洋環境の変化による赤潮発生の変期化などにより、十分な活用が難しくなっている。

町長 有害赤潮などによる漁業被害のほか、養殖魚の出荷が途絶えることが、生産者の所得向上を阻害する一因となっていることから施設の再配置と拡張ができないか。

町長 水産業競争力強化緊急施設整備事業を



生け簀の避難漁場の予定となる海域

足し網、生け簀の大型化整備事業を問う

活用して整備する計画である。事業費については、国が2分の1、県が全体事業費の10分の1を負担、町においても10分の1補助の予算案を本定例会に計上している。

池田 赤潮被害を軽減し安定した養殖生産の維持を図るため、足し網、大型生け簀の整備はできないか。

町長 赤潮対策緊急支援事業を活用して今回、足し網146台、大型生け簀9台を整備する。両整備の事業についても、国が2分の1、県が全体事業の10分の1を負担。町においても10分の1補助の予算案を本定例会に計上している。

フェリーの70歳以上の運賃無料化はできないか

池田 高齢化社会が進む中、天長フェリーお

よび獅子島汽船の70歳以上の運賃無料化により、島内外へ自由にアクセスできるように、地域社会の活性化や島内での交流機会の増加にもつながると思うが、70歳以上の負担軽減のためにも運賃無料化はできないか。

町長 70歳以上の運賃無料化の実施については、補助対象の状況や必要な経費の積算、財源など調査、研究が必要であると考えます。現在の住民割引がバ



島民にとって、重要な交通手段である天長フェリー



水俣市への通院に必要な不可欠な獅子島汽船

スの運賃と同様になるよう割引分を補助しているため今後、有料化する予定の乗合バスなどの関係もあることから一体的に検討していく必要があると考えます。

小田 勝志 議員



動画は
コチラ

各高校まで、バスによる送迎を

答 南国交通への乗り入れは難しい

町内の公共交通対策
路線バス

小田 昨年10月より運行された乗合バスについて、運転手の確保は。

- ① 新型バスの納車は。
- ② 高校生の通学対策として、各高校までバスによる送迎は。
- ③ 10月から有料化になるが、高校生、中学生、小学生を無料化できないか。

町長 現在、運転手は6人でシフトを組んで運行している。運転手の確保は将来的にも対応できると確認できている。

① 納車は令和8年3月末であるが、できるだけ早い時期の納車をお願いしてある。

② 現在50人近くの高校生がバスを利用している。南国交通路線への乗り入れとなると非常に難しい。

③ 財源があれば無償化が理想。南国交通の通学対策は最小必要限度すべきであり、交通対策会議に諮る。

昨年度町内の出生数46人を踏まえ、今後の地方創生

小田 これまでの10年経過した中で今後どのようななじ取りを行うのか。

- ① これまでの取り組み、成果は。移住。企業誘致は。
- ② 今後目指すべき対策は。人口減少対策。交流人口増に向けて。3

県架橋、獅子島架橋の整備は。サンセットの丘整備は。赤潮対策の一環として廃施設を利用した陸上でのサーモン養殖は。

③ 地方創生伴走支援制度とは。地方創生支援官の役割は。

町長 ④ 今後の地方創生の取り組みは。

町長 ① 国の官僚を副町長として登用。移住率は高くない。企業誘致には苦慮している。

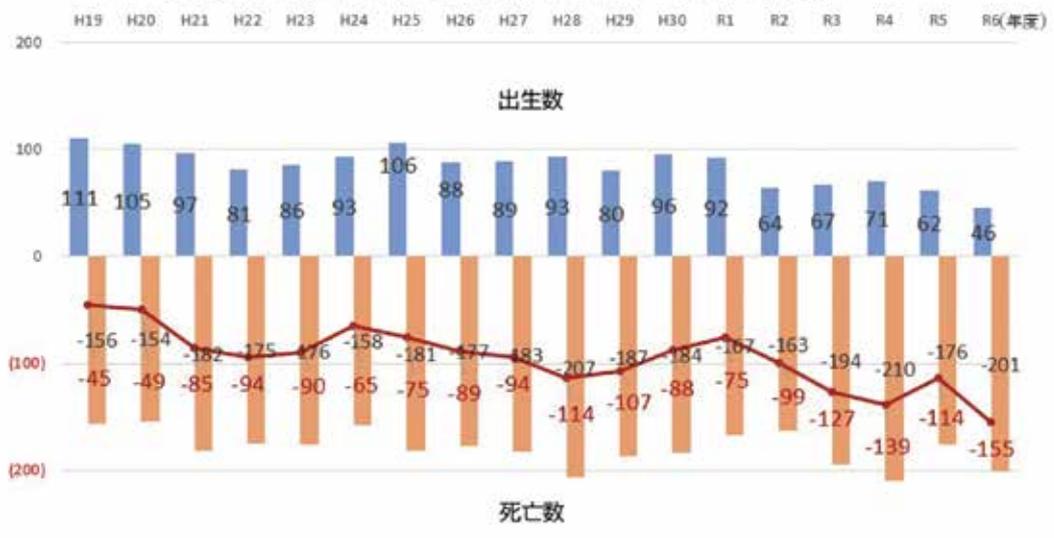
② 架橋実現に向け要望活動や調査を実施する。新たな複合遊具、回廊型の庭園を整備。漁協と協議しながら調査、研究を進める。

③ 国の職員が地方自治体の問題解決を支援する制度。3人態勢で課題整理や政策立案の助言を行う。

④ 獅子島架橋の実現。サンセットの丘整備。子ども、子育てに支援

する政策。

長島町の自然増減推移（平成19年度～令和6年度）



長島町の自然増減推移。令和6年度の出生数は46人

遠距離通学（小中学生）の 乗合バス利用は

答 最寄りのバス停から利用できる

スクールバスを利用できない地区の対応は

古田 スクールバスを利用できない地区の対応は。

現在、平尾車庫前から高校生を東回り、西回りで50人、だんだん市場まで送迎している。帰りは空席のまま平尾車庫に帰っている状況である。時間的にさほど変わらないようであれば、唐隈地区の4つのバス停を利用し、小中学生を乗車させることにより、保護者の送迎負担軽減につながるのではないかと。



町内を運行する乗合バスと巡回バス

小中学校の危険箇所対策を早急に

古田 町立小中学校の現状は。

教育総務課長 38棟の建物のうち、新耐震基準建物が18棟、旧耐震基準建物が20棟である。体育館については、災害時の避難所に指定されている。

古田 城川内小学校体育館周りの危険箇所対策を急ぐべきである。同小PTA総会の中で、体育館周りのコンクリートが剥がれ落ちたり、さびた鉄骨が丸見えになったりしており、子どもたちが思いつき走り回ることができないため、早急に対応して欲しいとの意見が出ている。危険箇所の対応を伺う。



立ち入り禁止の体育館の危険箇所

教育総務課長 現在の破損状況は想像を超えており、子どもたちの安心、安全な学校生活継続のため、災害時に避難される町民のかたがたの安心安全のために早急に対応する。



古田一博議員
ふるた かずひろ



動画は
← コチラ

教育総務課長 旧日本浦小学校区、旧田尻小学校区、旧汐見小学校区で運行しており、通学時に関しては、山門野地区と唐隈地区については、乗合バスがだんだん市場から平尾に向けて朝7時台に運行しており、最寄りのバス停から利用できる。利用開始する場合は、事前に各学校からの許可が必要である。



破損した城川内小体育館の危険箇所

上平 重議員



動画は
コチラ

地方創生第2世代交付金の 具体的活用は

サンセットの丘を中心とした
拠点整備事業を進める

地方創生2・0に
ついて、どのよう
に把握しているか

上平 地方創生2・0
事業は、申請主義であ
り、やる気のある自治
体に重点的に交付金を
振り分ける制度であ
る。これに対し、本町
はどのような態勢で臨
んでいるか。具体的な
計画は。

町長 令和7年4月に
三役と全所属長で組織
する長島町総合戦略推
進本部を設置し、第2
世代交付金の制度概要
や採択事例などを説明
し、制度の積極的な活

用を促した。その中で、
3本の柱だけは成功さ
せたい。その他は町の
振興計画の中の状況を
頑張っていきたい。

産学官連携は

上平 慶応義塾大学、
鹿児島大学との協定状
況は。

町長 慶応義塾大学と
は、平成29年に地方創
生に関する協定で、地
方創生に関する研究、
教育活動、人材育成を
取り組んでいる。鹿児
島大学とは、本年4月
に長島町、東町漁協と
の三者協定を締結し、
水産業振興、地域振興
を図る。

東京農大との提携は

上平 本町は一次産業
が主産業である。東京
農業大学は全国60カ所
の自治体と提携し、南



東京農大と南大隅町との交流を取り上げた記事(令和7年4月20日付け南日本新聞)

大隅町では30年の取り
組み実績がある。本町
との提携の考えは。

町長 まずは取り組む
べき課題整理をし、そ
の課題に精通した企
業、大学などとの連携
を検討したい。

新総合運動公園の 将来ビジョン

上平 新総合運動公園
の整備進捗と供用開始
時期は。また、施設の
活用方針は。

町長 現在、スタンド

棟の建設中で10月の完
成を予定。その後、照
明柱建設、トラック舗
装、人工芝、トイレ棟、
倉庫建築、駐車場、園
路舗装などの工事を計
画している。供用開始
は令和11年4月を予
定。活用方針は、市民
の健康増進、競技力の
向上、スポーツイベン
トの会場、スポーツ合
宿誘致、大規模災害時
の一時避難場所などの
拠点とする。

上平 利用調整や施設
管理を見据えた運営協
議会の設立を。

町長 町民のスポーツ
団体と地域のニーズ、
地域おこし協力隊の取
り組み内容が一致した
場合には、創設できる
かもしれないが、活動
費が支給されない4年
目以降が課題である。

協力隊制度を活用 したスポーツ振興

上平 地域おこし協力
隊制度を活用した女子
サッカーチームの創設
を。



宮崎県新富町が行う女子アスリートによる地域活性化事業

病児保育施設の開設はできないか

答 十分対策を図るべきと思う

雑種地の評価額の見直しは

浦 令和6年6月定例会で質問した雑種地など固定資産税の評価額が見直された事例はあったか。

町長 相談は10件ほどあったが、税額変更した案件はなかった。

技術職員の採用増は

浦 ①現在の職員定数と会計年度任用職員数は。

②技術職員の採用増の考えは。

町長 ①職員定数は

条例では、231人で、現在180人。会計年度任用職員は240人雇用している。

②行政の効率化と質の向上を目指し、採用増も検討する必要がある。

技術管理室の設置と工事監査委員の任命を

浦 工事件数が多いが、技術管理室の設置と工事監査員の任命など考えられないか。

町長 公共工事の高度化、複雑化に対応し、職員の負担軽減を図る観点から、必要と体制のあり方について検討する。

多目的広場造成工事

浦 山中地区の多目的広場造成工事を行っている。

①処分方法、処分完了時期は。

②集中豪雨による土砂災害対策は万全か。

③最終的な利用計画は。

町長 ①薄井漁港竹島内で東町漁協新加工場建設のため、土砂の一時仮置き場として利用。土量は約7万立方メートルで、仮置き期間は令和8年3月まで。

②県との覚書で、運営管理は県が行う。広場へ流れてきた水は、下流の調整池から河川に流れ、今のところ苦情などはない。

③イベント時の駐車場や緊急避難場所などに活用する。

平尾診療所の町営化

浦 平尾診療所が民営から町営に移行されたが、鷹巣診療所との運営などの方向性は。

病児保育室の開設

浦 病児保育室の開設はできないか。

福祉事務所長 医療連携の協力ができる医師

町長 平尾診療所の医師からの申し入れで、政策審議会での検討の結果、町営化した。診療費用、診療報酬など鷹巣診療所との違いはない。

や看護師、保育士などの確保と医療施設整備が必要。これらの要件が満たされれば、設置が可能ではないかと思う。

町長 そのための条件として、子ども子育て基金などを創設し、公的などで救済できないかなど含め十分な対策を図る。



令和7年4月から町営化された平尾診療所

浦 弘成 議員



動画は
こちら

かみすじ
むつお
上筋 睦雄 議員



動画は
コチラ

義務教育学校、鷹巣校、平尾校、川床校、指江校とする

答 貴重な意見、ありがとうございます

町立学校の教育の目的、目標は

上筋 長島町立学校の教育の目的、目標は。

町長 令和5年3月策定の長島町第2次総合振興計画のとおり。

上筋 教育の目的は「人格の完成」、目標は「情操と道徳心を培う」「自律の精神を養う」「正義と責任」「自然を大切に、伝統と文化を尊重」「郷土を愛する」と教育基本法の第1章にある。

学校教育課長 これを踏まえ、豊かな心と健やかな体、社会に自立する力を育む教育、信頼される地域と共にある学校づくりに取り組んでいる。
上筋 明治から昭和のある時期までの教育は

「国家のための国民づくりの教育」であった。今後、100年生きる人たちは「国民のための国家づくりのできる人」の教育を目指すべきでは。

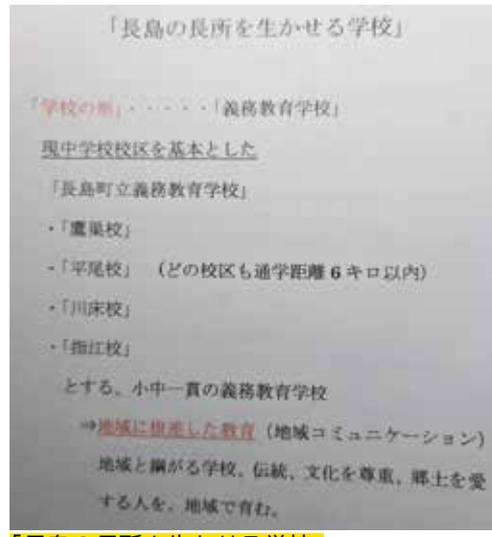
学校教育課長 先の説明と被ると考える。
義務教育学校の考えは
上筋 長島の生かせる学校、現在の中学校区を基本とした小中一貫の長島町立義務教育学校、鷹巣校、平尾校、川床校、指江校とする。

育過程を進めている。
上筋 100年生きる人たちのしなやかな人格形成ができる学校、皆で考えて目指しましょう。

役職定年制と新しい部局の創立は
上筋 役職定年制の現況と新しい部局の創設は。
町長 定年齢を段階的に65歳まで引き上げる制度改正を実施している。役職定年を迎えた職員が経験や専門性を生かせる業務、指導的立場で若手職員の育成に貢献できる仕組みを作る。新しい部局創設の考えは現在の。

がある。モチベーションが下がらないよう選んでもらう。
サンセットの丘宿泊施設の進捗状況は
上筋 ①土地を活用するための権利は。約定は継続または解約か。②ホテル建設の代替案は。

町長 ①土地賃貸借契約による賃貸借期間は着工から30年間。②代替施設は検討していない。
盛土規制法の考えは
上筋 令和7年5月に施行された盛土規制法の指導・監視体制は。



「長島の長所を生かせる学校」

教育総務課長 川床、平尾校区では、小中学校が学校運営協議会などで連携している。小中学校が連携して、教

副町長 60歳で退職、定年延長制度を使う、週4日の短時間勤務職員になる3つの選択肢

町長 関係者への周知を図る。災害防止措置が必要な場合には、行政指導する。違法盛土への監視は、関係部局と連携し対応する。

防災無線の受信困難地域の解消は

答 受信困難地域解消に向けて、
設備の改修工事を計画している

中学校統合再編問題

楠元 中学校統合再編問題について、再度の



■ 整備計画（イメージ）
本年4月に教育委員会から示された中学校統合再編における鷹巣中学校の整備計画（イメージ）

質問をする。令和6年6月に行われた各中学校ごとの説明会の内容と、令和7年4月28日に開かれた学校統合再編調査特別委員会で教育委員会から説明を受けた内容と大きくかけ離れた内容となっている。昨年は、鷹巣中の隣接地約1万2千平方メートルを買収し、プール、教室棟を建設するとのことではパブリックコメ

ントを行い、80%以上の賛同を得ている。今回は、内容が非常に変わっている。なぜか。

町長 中学校統合再編の用地買収については、基本計画は策定済みであるが、詳細版については、策定中である。学校用地として必要な場合には、用地の確保も検討する。

楠元 昨年の説明では、学校敷地内にプールを造り、教室棟を建設、管理棟は改修、武道館は解体し建て替えるとの説明で、町民が

納得したパブリックコメントの結果であると思う。

4月29日の南日本新聞に、総務省は本年度廃校や使わなくなった公共施設の解体費用を支援するとの記事がある。長島町もこの制度を活用し、長島高校跡地の新中学校統合再編を考えたらどうか。

町長 県の教育長と話をした結果、この制度には該当しないとの見解であった。

防災無線の受信困難地域への対策は

楠元 防災行政無線の受信困難地域に対する対策はどのようになっているか。

町長 防災無線は災害時や緊急時の情報伝達手段として活用している。地形や天候の影響

により、受信困難地域がある。必要に応じて、外付けアンテナを設置するなどの対応を行っている。このような状況を改善するため、来年度設備改修工事を予定している。

汐見交差点の信号機の改善策は

楠元 汐見地区と国道389号線を結ぶ重要な交差点である。しかし、汐見と潟からの通行車両は少ない。国道を通る車をスムーズに流すためにも感知式信号機に変更できないか。

町長 本年2月25日に開催された阿久根警察署協議会で、方式変更について協議された。現状の定周期信号の設置を続けるとのこと。



楠元 康博 議員
くすもと やすひろ



動画はコチラ

なかうら まさひこ
中浦 雅彦 議員



化石パークの化石発掘、体験場の整備を

化石の発掘ができるような石を入れる
答



クビナガリュウとアンモナイトのモニュメント(片側港)

化石パークの魅力向上、情報発信強化
中浦 化石パークの発掘体験場に化石のある石を増やしていただきたい。



企画財政課長 町長から6月中にということもあつたので、方針を決定してできるだけ早く設置したい。
中浦 片側港にあるクビナガリュウとアンモナイトのモニュメントの周辺に化石パークの案内看板を設置できないか。

中浦 観光案内所などに獅子島のパンフレットがないことがある。提供いただけないか。
中浦 観光案内所などあれば、必要な案内所などへ持って行って補充していただければ有り難い。
中浦 幣串港に配置するレンタサイクルの貸し出し用の宣伝に、立て看板を設置していただきたい。

企画財政課長 管理されているかたと協議して考えたい。水俣港の方にも片側の化石パークへの案内看板設置と併せて対応したい。
化石発掘調査、体験教室の考えは
中浦 体験学習に参加



本年5月開催の恵比寿市の様子

中浦 現在の恵比寿市の集客、出店状況についてどのように評価されているか。
恵比寿市の現況と改善策は
中浦 本年度は東京都市大学と宇都宮聡氏による調査が計画されている。
町長 させていただき、子どもたちが喜んだ様子を見た。自然の体験は大事だと思うが、考えはないか。



大盛況となった「魚のつかみ取り」

町長 年2、3回ほど企画物を催して、めりはりを利かせるべき。継続できるような支援も必要だと思う。
中浦 恵比寿市と連動した町内観光、地域振興施策の強化は。

水産景観課長 だんだん市場で大きなイベントを開催したい。そのイベントを恵比寿市でも開催できるように、チャレンジしたい。

議会の傍聴に来ませんか？

長島町議会では、会期中、傍聴者を随時、受け付けています。町民の皆さんが選んだ議員が、町の施策や予算の審議をどのように行っているか、関心のあるかたは、ぜひ傍聴にお越しください。

また、本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーのテレビでもご覧いただけます。

次の定例会は9月に開会される予定です。



議会傍聴時の注意事項

長島町議会傍聴規則では、地方自治法第130条第3項の規定に基づいて、傍聴に関する必要な事項を定めています。

例えば、傍聴の定員は40人（第3条）で、会議を傍聴しようとする場合、傍聴者の住所や氏名を「傍聴人受付票」に記入しなければなりません（第4条）。

このほか、次のとおり、規則で定めています。

（抜粋）

傍聴人は、次のことを守らなければなりません。（第7条）

- ①議場での言論に対し、拍手その他の方法で公然と可否を表明しないこと
- ②議場に現在する者に対し、示威的行為をしないこと
- ③携帯電話端末など音を発する機器は、音を発しないようにすること
- ④飲食、喫煙をしないこと
- ⑤写真の撮影や録音、録画などをしないこと
- ⑥議場の秩序を乱したり、会議を妨害したりするなど他人の迷惑となるような行為をしないこと

次に該当する者は、傍聴席に入れません。（第6条）

- ①銃器や刃物、棒など他人に危害を加えるおそれのある物を携帯している者
- ②議場に現在する者に対して、ビラや垂れ幕、たすきなど示威的行為のために使用されるおそれがある物を携帯・着用している者
- ③酒気を帯びていると認められる者
- ④会議を妨害したり、他人に迷惑をかけたたりするなどのおそれがあると認められる者

傍聴人は、議場に入ることはできません。（第5条）

多様性に配慮した バリアフリートイレ設計を

総務民生常任委員会

委員長 兒玉 誠

委員会付託案件

- 議案第66号
リース契約の一部解約に伴う賠償の額を定めることについて
- 議案第67号
令和7年度長島町一般会計補正予算(第2号)
- 議案第68号
令和7年度長島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第69号
令和7年度長島町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号)

○議案第66号

▼町民保健課

Q. リース会社と5カ年契約を行っていているが、契約時に国の標準化システムの移行案はあったか。

A. 契約時点では情報が少なく、不確定であった。単年度契約は負担が大きいため、5カ年契約とせざるを得なかった。

▼企画財政課

Q. 国が進める情報システムの標準化についての経緯と改修費用の財源は。

A. 令和3年9月に地方公共団体情報システ

ムの標準化に関する法律」が施行され、デジタル基盤改革支援補助金として、令和7年度までの取り組みを支援することが定められたことから、改修費用の全額が国庫補助金となる。

○議案第67号

▼企画財政課

Q. 獅子島の両施設のトイレ改修について、バリアフリートイレの入口が男性または女性トイレを経由する設計であるが、男女共に使用するので、入口の変更はできないか。

A. 設計変更が可能か確認し、検討する。

Q. 巡回バス運行計画策定業務委託および実証運行の内容は。

A. 委託先は九州経済研究所で、運行経路の見直しや運行頻度の調

査、アンケート、乗り込み調査を行い、実証運行を行う。

▼総務課

Q. 防災研修備品のスポットクーラーの活用方法は。

A. B&G財団研修支援事業で避難所開設や救命救急の研修会場で使用する。スポットクーラーは持ち運び可能な冷風扇型を購入予定。

▼町民保健課

Q. 予防接種事業費の事務的補助金の内容は。

A. 新型コロナウイルスワクチン接種が原因の健康被害に対する医療費などの補助金である。

▼福祉事務所

Q. 生活保護システムの改修内容と生活保護

受給者の人数は。

A. 生活保護扶助基準の見直しに伴うもので、物価高騰が続いているため、令和7年度、8年度も一人当たり、1500円加算する基準額改定などを行うもので、生活保護受給者は41世帯44人である。

○議案第68号

▼町民保健課

Q. 制度見直しに伴うシステム改修とは。

A. 国の標準化システムの変更に伴う、国保資格確認書の台紙を変更する経費と高額医療費制度のシステム改修委託料である。

○議案第69号

▼総務課

Q. 平尾診療所歯科の給料が報酬になった理由は。

A. フルタイム会計年

度任用職員を2名採用予定であったが、1名が歯科衛生士の資格を有していないため、歯科助手として、パートタイムの任用となったため。

◎付帯意見

▽企画財政課所管の獅子島アイランドセンター、御所ノ浦高齢者コミュニティセンター両施設のトイレ改修工事については、車椅子利用者だけでなく、高齢者や障がい者、小さな子ども連れのかたなど、多様なかたが利用しやすいバリアフリートイレとして、設計変更のうえ、事業を執行されたい。

補正予算1件を審査

建設経済文教常任委員会

委員長 池田 安彦

委員会付託案件
○議案第67号
令和7年度長島町一般
会計補正予算(第2号)



予算を審議する委員

技の活動を行っている
長島陸上および獅子島
卓球クラブの3団体で
ある。

○議案第67号

▼学校教育課

Q. 町内で、地域スポーツクラブは何団体あるのか。

A. 男子バレーボールの活動をする長島YEBIUS、陸上競

Q. 地域スポーツクラブ活動体制整備事業の消耗品費の予算額の根拠は。

A. 各団体において、必要である消耗品の見積額を算出したところ1団体当たり約11万円の予算額となる。

▼社会教育課

Q. 総合運動公園のナイター整備工事について、どのようなスポーツを対象としているか。また、ナイター照明について、民家への影響はないか。

A. 陸上競技やサッカーを想定している。また、民家へ影響のないよう、競技場内のみ明るくできるようにする。

Q. 総合運動公園整備の総事業費は。

A. 総額28億円になる見込みである。

▼農政課

Q. ワイヤメッシュ柵について、今後の対応は。

A. 町内の農用地は1800畝あり、ワイヤメッシュ柵の総延長は今回補正予算計上分も含めると、195.765[㎡]になる。現在、小浜地区から要望があり、来年度実施する計画である。

▼水産景観課

Q. マッコウクジラのモニメントはどのよ

うな形状で設置するか。

A. ステンレスの板をクジラの形状にくり抜き、景観に配慮して設置する計画である。縦が1200^{mm}、横が2400^{mm}の板をくり抜き、だんだん市場駐車場に設置する。

Q. サンセットの丘癒し空間観光地整備事業の内容は。

A. 令和6年度事業を継続してプール跡地の庭園整備を計画している。

▼建設課

Q. 指江川内線交付金事業費の内容は。

A. 社会資本整備総合交付金の内示に伴う補正で、測量設計委託費として、建物調査を4棟と指江川内線の測量設計委託である。土地

購入費は、過年度設計分の未買収箇所が13筆。建物移転等補償費については立木補償である。

Q. 港湾建物業費について、諸浦港の可動橋油圧シリンダー移動はどこかに保管するためのものか。シリンダーの状況は。

A. 新しいシリンダーの交換については、6月末には移動、交換ができる見込み。古いものは緊急時の代替として使うために、指江支所裏の屋根付き倉庫に保管する予定。

▼耕地林務課

Q. 多面的機能支払交付金事業の増額補正はどのような内容で県補助金がついたのか。また、事業費42万4千円はどのように算定されたのか。この金額で改修するには事業費が足

りないのではないか。

A. 唐隈地区が本年度に要望した農業用施設の長寿命化に関わる事業に対する補助金である。事業内容は、農道や水路の補修である。事業費は地区の面積に単価を乗じて算定された。交付された補助金額の範囲内で活用してもらう。



補修予定の農道(唐隈地区)

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

議会のうごき

4月

- 1日 北薩3消防本部指令センター運用式(薩摩川内市)
- 4日 町村議会議長会理事会(鹿児島市)
- 7日 小中学校入学式
- 8日 転入学校職員宣誓式
- 15日 北薩空港幹線道路整備促進期成会
- 19日 長島町教育関係者・管理職等合同歓迎会
- 20日 令和7年度長島町消防団入退団式
- 22日 例月現金出納検査
- 23日 第1回議会広報特別委員会(No.80)
- 25日 第2回議会広報特別委員会(No.80)
- 28日 第10回学校統合再編調査特別委員会
- 29日 獅子島招魂祭

5月

- 1日 水俣病犠牲者慰霊式(水俣市)
- 地方創生政策に関する意見交換会
- 12日 瀬戸内町議会行政視察(役場)
- 離島振興町村議会臨時総会及び議長研修会(鹿児島市)
- 13~14日 議員研修会(鹿児島市)
- 16日 鹿児島県建設業協会出水支部通常総会(出水市)
- 21日 例月現金出納検査
- 23日 幣串漁港竣工式
- 26日 北薩空港幹線道路整備促進期成会総会(さつま町)
- 27~28日 議長・副議長研修会(東京都)
- 28日 阿久根地区消防組合議会臨時会(阿久根市)
- 29日 町道早尾掛線改良工事落成式
- 30日 議会運営委員会(第2回定例会のため)
- 県市町村連携会議(ウェブ会議・役場)

6月

- 1日 町制施行20周年記念こども講演会「夏井いつき句会ライブ」
- 3日 山門野丘石庭展望所完成式典
- 6~19日 第2回定例会・第3回全員協議会(6日)
- 20日 東町漁協第77回通常総会
- 25~27日 議員研修(広島県・岡山県・兵庫県)
- 30日 第1回長島町地域戦略協議会委員会

流通の最前線学び

鹿児島市魚類市場視察



5月14日、議員研修の一環として、鹿児島市中央卸売市場の魚類市場を視察した。入荷から出荷までの物流や衛生管理を学習。外気を遮断し、低温流通を実現した施設で、鮮度を保ち、安定供給できる仕組みを確認した。

今回得た知見を地域活性化策に活用する。



例年なら春の味覚を知らせるバレイショですが、今年は低温が響き、収穫が遅れました。その影響で市場価格は高値を維持したものの、出荷量は少なく、農家の皆さまには喜びと悩みが入り混じったこととなったようです。天候という相手の前では、人は準備と工夫で寄り添うほかありません。来年こそは豊かな実りと安定した価格がもたらされることを願います。

町議会も地域経済を支える農業政策や災害対策に引き続き取り組み、現場の声を施策に反映させてまいります。皆さまから寄せられるご意見こそが議会運営の原動力です。今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしく願います。

(竹山 司郎)

【発行責任者】

議長 林 誠治

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 上平 重

副委員長 中浦 雅彦

委員 楠元 康博

委員 二階堂 猛

竹山 司郎

